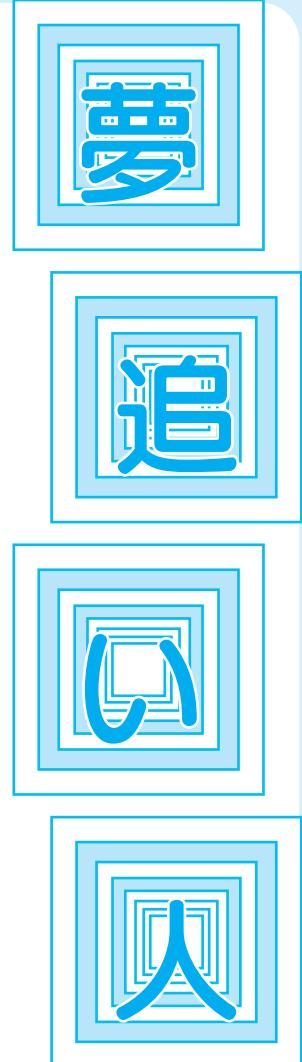


愛着のもてる良い品を作ることを 目指しています



(有)野中木工所
専務取締役 野 中 賢 吾 さん



今回スポットを当てるのは、本物志向の家具作りで定評がある野中木工所。専務取締役の野中賢吾さんにお話を伺つた。

野中さんは「流行を追いかけるよりも、飽きの来ない、愛着のもてる良い品を作ることを目指しています。それが当社の差別化だと思っています。」と語る。

製品は、純天然木である。ツキ板やシート等は全く使わない。パイン、ヒノキ、ナラ、クルミ、サクラ、ブラックウォールナット、ブラックチエリーなど特に味わいのある素材を使う。作業工程にもそのこだわりが見える。

どういったことだろうか。「材料選別、仕込み、磨き、塗装、組み立て、仕上げまで人の『手』を惜しみません。本当のいい家具を作るには、機械だけでなく、人の技術、職人の技術が大切だと思っています。」「アフターもしっかりといる。生き物の家具を使つていると、割れ、そり、狂いなどが出てくる場合がある。野中木工所では、三年以内であれば無償で修理し、手直しするシステムを取つてゐる。

使う方への「優しさ」にも気を配る。

インターネットで新潟から注文された製品。
きちっと梱包して配送します。



家具に対する環境基準がしくなる前から、「環境に優しい、オイル仕上げ、エコウレタン塗料を使ってきました。」そして、昨年夏から取り組んでいるのが、「マイナスイオン家具」である。マイナスイオンといえど、電化製品などにも普及しつつあり、健康によいことが認知されつつある。人の免疫力を高め、丈夫な体を保つ抗酸化作用もある。特に家具について言えば、消臭効果、悪臭の元アンモニア、ホルムアルデヒド、エチレン等を吸着、分解し、消臭する。また、抗菌、防湿効果もあるのだ。「肩凝り、便秘、冷え性、リウマチ、アレルギーに



他にもこんなものが…

も良じと聞われて。この家具はどのようにして作るのだろうか。

「当社では通常のマイナスイオン鉱石の一〇〇倍以上強力な天然鉱石を使っています。そして、その粉末を接着剤、塗料に溶かして使用しています。」

「どれほど強力なのだろうか。マイナスイオン測定装置を持ってきてもらつた。測定すると部屋のレベルは一一。コンピュータ等の電化製品を使用しているので、数値は低いそ

うだ。それからナイロン袋に入った天然鉱石の粉末(ヒロタスペシャル)も持ってきていただきた。袋を開けない状態で近くを測ると、なんと数値は一〇七九四もあつた。驚きである。確かに健康に良いに違ひなし。

また、いま野中木工所では、commode houseの立ち上げにかかる。インターネット販売

ネットで、オリジナル家具を注文できる。

どのようにお問い合わせができるのだろうか。「注文フォームから、まず先に紹介した七種類の天然素材を選びます。それから、基本的な形状の選択

です。種類には、クルシックキューブ、アジャアモダソ、ヨーロピアン、カントリー、pasta、vivi napoliなどがあります。そしてサイズは自由に注文していただけ結構です。それからまだいて結構です。それからまた、多種多様の製品が注文できるわけだ。たまたま取材の日、新潟からの注文品を梱包しておられるといひで、いまから発送するとのことで、あつた。

インターネツトウエーブサイ

トを見て、本物志向といひこ

とでわざわざ足を運んで下さるお客様もいらっしゃるやうだ。そのウェブサイトは、

<http://www.ononaka2w.co.jp/index.htm>

夢を聞いてみた。野中さんはいつ語った。

「こだわった商品作りをしているメーカーがあることを多くの人に認知してもらいたいですね。末端の顧客の方々にも。そのためにも市場開拓をし、PRを強化していくたいと願っています。是非、良いモノを探している方に出会いたいですね。」